

臨床例で学ぶ PET/CT の診断ストラテジー

12. 悪性黒色腫
- 塚本江利子…………… 23・1 (82)
- My Opinion——画像診断医からのコメント
- 小山 貴…………… 23・1 (86)
13. 原発不明がん
- 西山佳宏ほか…………… 23・2 (98)
- My Opinion——画像診断医からのコメント
- 伊藤博敏…………… 23・2 (102)

造影CTの実践テクニック 領域別に見る64列MDCTの検査と診断

- X 胸部領域 (3)
- 胸部領域における 64 列マルチスライス CT
- 渡辺裕一ほか…………… 23・1 (79)
- XI 腹部領域 (3)
- 上腹部領域における 64 列 MDCT の有用性
- 前谷洋爾…………… 23・2 (92)
- XII 心・血管領域 (3)
- 心・血管領域における 64 列 MDCT の造影剤投与方法
- 佐藤浩三ほか…………… 23・3 (72)

〈新シリーズ〉造影 CT の実践テクニック 領域別に見る 64 列 MDCT の検査と診断 Season2

1. 胸部領域 ①
- 胸部領域における造影 64 列 MDCT の有用性
- 戴内英剛ほか…………… 23・4 (60)
2. 心・血管領域 ①
- 冠動脈領域における
- 64 列 MDCT と SPECT/CT fusion 画像の有用性
- 川崎友裕ほか…………… 23・5 (96)
3. 腹部領域 ①
- 64 列 MDCT による肝パーフェュージョン CT
- 彌永由美ほか…………… 23・6 (47)
4. 脳・神経領域 ①
- 当院における脳・神経領域での
- 64 列 MDCT の臨床的活用法
- 水島 明ほか…………… 23・7 (52)
5. 胸部領域 ②
- 64 列マルチスライス CT での
- 胸部造影 CT での臨床使用の実際
- 橋本直人ほか…………… 23・8 (68)
6. 心・大血管領域 ②
- 心・大血管領域における造影 64 列 MDCT の有用性
- 藤田安彦ほか…………… 23・9 (88)

7. 腹部領域 ②
- 膵・胆道領域における 64 列 MDCT の臨床的活用法
- 杉田礼児…………… 23・10 (65)
8. 脳・神経領域 ②
- 脳・頭頸部領域における
- 64 列 Dual Source MDCT の臨床的活用法
- 宮坂俊輝ほか…………… 23・11 (61)
9. 胸部領域 ③
- 胸部領域における造影 64 列 MDCT の有用性
- 急性肺動脈血栓塞栓症を中心に
- 桐山智成ほか…………… 23・12 (56)

造影MRIのピットフォール —— For the Beginners

- 脳・頭頸部
10. 脳の正常と血管性病変
- 林 貴史ほか…………… 23・1 (73)
11. 脳の血管性病変以外
- 長見ゆきほか…………… 23・2 (87)
12. 頭頸部・眼窩
- 小島和行ほか…………… 23・3 (76)

〈新シリーズ〉 造影 MRI の意義 Revisited —— For the Beginners

- 骨盤部
1. 前立腺, 膀胱
- 北島一宏 / 榊 靖…………… 23・4 (64)
2. 子 宮
- 池内高志 / 小山 貴…………… 23・5 (90)
3. 卵 巢
- 三森天人…………… 23・6 (42)
- 腹 部
4. 肝 臓
- 丸上永晃ほか…………… 23・7 (57)
5. 膵 臓
- 祖父江慶太郎 / 鶴崎正勝…………… 23・8 (73)
6. 腎 臓
- 佐藤宏朗 / 成松芳明…………… 23・9 (94)

- 頭頸部
7. 中枢神経（腫瘍）
- 金崎佳子ほか…………… 23・10 (58)
8. 中枢神経（腫瘍以外）
- 福庭栄治ほか…………… 23・11 (65)
9. 頸部
- 辰野 聡…………… 23・12 (50)

〈新シリーズ〉モニタの特性と管理 Vol.2 ニーズに合ったモニタ選択と品質管理

1. 医療用モニタの最新技術動向
- ・新シリーズ開始にあたって
- 市川勝弘…………… 23・2 (80)
- ＊コラム「FAQ：モニタの常識・非常識」
- 松田恵雄…………… 23・2 (81)
- ・ベンダー別最新技術動向…………… 23・2 (82)
2. ここがポイント！ モニタ品質管理ガイドライン
- ・受入試験と不変性試験のポイント
- 石塚圭一…………… 23・3 (82)
- ＊コラム「FAQ：モニタの常識・非常識」
- 松田恵雄…………… 23・3 (85)
3. モニタは劣化する！品質管理してますか？
- ・ネットワーク環境下のモニター括管理に必要なこと
- 上村正信…………… 23・4 (70)
- ＊コラム「FAQ：モニタの常識・非常識」
- 奥田保男…………… 23・4 (73)
4. モニタは劣化する！品質管理してますか？
- ・ベンダー別 QA, QC の考え方と技術…………… 23・5 (101)
- ＊コラム「FAQ：モニタの常識・非常識」
- 奥田保男…………… 23・5 (105)
5. モニタは劣化する！品質管理してますか？〈事例報告編 1〉
- 病院におけるモニタ品質管理の考え方とノウハウ
- ・坂総合病院における医用画像表示モニタの
- 品質管理について
- 【坂総合病院】小山茂樹…………… 23・7 (64)
- ・モニタ品質管理を始めてみた 2 年間の実際
- 【横浜労災病院】萩原充人…………… 23・7 (66)
6. ニーズにあったモニタを選ぼう！
- ユーザーの立場から
- PACS システムに求められるモニタ機能や条件とは何か
- 原瀬正敏…………… 23・8 (80)
- PACS ベンダーの立場から
- 理想的なモニタとは
- PACS を構築する立場からの 5 つのポイント
- ピー・エス・ピー (株)…………… 23・8 (83)
- ・各ベンダーにおける標準モニタ
- (1M モノクロ・カラー) の特徴…………… 23・8 (84)
- ＊コラム「FAQ：モニタの常識・非常識」
- 奥田保男…………… 23・8 (82)
7. ニーズにあったモニタを選ぼう！
- 高精細モニタ (2, 3M モノクロ・カラー) の場合
- ・高精細モニタの定義と選択のポイント
- 平田吉春ほか…………… 23・9 (100)
- ・各ベンダーにおける標準モニタ
- (2, 3M モノクロ・カラー) の特徴…………… 23・9 (102)
- ＊コラム「FAQ：モニタの常識・非常識」
- 松田恵雄…………… 23・9 (104)

8. ニーズにあったモニタを選ぼう！
- 超高精細マンモグラフィ用モニタの場合 (5M モノクロ)
- ・マンモグラフィ用モニタの選択のポイント
- 川島博子ほか…………… 23・10 (70)
- ・各ベンダーにおける
- マンモグラフィ用モニタの特徴…………… 23・10 (73)
- ＊コラム「FAQ：モニタの常識・非常識」
- 松田恵雄…………… 23・10 (72)
9. ニーズにあったモニタを選ぼう！
- 超高精細 2 面モニタ (4-6M カラー× 2 面) の特徴
- ・各ベンダーにおける超高精細 2 面モニタの特徴
- …………… 23・11 (70)
- ＊コラム「FAQ：モニタの常識・非常識」
- 松田恵雄…………… 23・11 (74)
10. モニタは劣化する！品質管理してますか？〈事例報告編 2〉
- 病院におけるモニタ品質管理の考え方とノウハウ
- ・当院におけるモニタ管理の過去・現在・未来
- 当たり前をめざして
- 【北里大学 北里研究所メディカルセンター病院】
- 櫻井朋幸ほか…………… 23・12 (62)
- ・名古屋第二赤十字病院における
- モニタ品質管理の考え方とノウハウ
- 【名古屋第二赤十字病院】新美孝永…………… 23・12 (64)
- ＊コラム「FAQ：モニタの常識・非常識」
- 松田恵雄…………… 23・12 (66)

〈新シリーズ〉 Contrast-Enhanced US Imaging ソナゾイドによる造影超音波検査のノウハウ

- 【No.1】
- ・シリーズ開始にあたって
- ソナゾイド造影超音波検査の普及に向けて
- 松田康雄…………… 23・2 (73)
1. 肝腫瘍診断における
- ソナゾイド造影超音波検査の実際とポイント
- 麻生和信ほか…………… 23・2 (74)
2. 術中ソナゾイド造影超音波のポイント
- 光法雄介ほか…………… 23・2 (76)
- ・技術解説（東芝）…………… 23・2 (78)
- 【No.2】
1. 肝腫瘍の診断・フォローアップにおける
- ソナゾイド造影超音波検査のポイント
- 小川真広…………… 23・3 (86)
2. 肝がん診療におけるソナゾイド造影超音波検査の実際
- 小林功幸ほか…………… 23・3 (88)
- ・技術解説（GE）…………… 23・3 (90)
- 【No.3】
1. 中央検査部門である超音波診断センターにおける
- ソナゾイド造影超音波検査のポイント
- 中田典生…………… 23・4 (74)

2. 肝腫瘍の複数病変および肝実質相評価における ソナゾイド造影超音波検査のポイント	
堀口祐爾ほか	23・4 (76)
・技術解説 (フィリップス)	23・4 (78)
【No.4】	
1. ソナゾイド造影超音波検査のノウハウとテクニック ——肝腫瘍の診断を中心に	
田中幸子ほか	23・5 (106)
2. 肝がんの局所治療効果判定における ソナゾイド造影超音波検査のポイント	
岩崎隆雄	23・5 (108)
・技術解説 (日立メディコ)	23・5 (110)
【No.5】	
1. 肝腫瘍性病変の診断におけるソナゾイド造影超音波の実際	
西川 徹ほか	23・6 (52)
2. 当院におけるソナゾイド造影超音波検査の実際	
山下信行	23・6 (54)
・技術解説 (持田シーメンス)	23・6 (56)
【No.6】	
1. ソナゾイド造影エコーによる肝腫瘍診断	
斎藤明子	23・7 (70)
2. 肝細胞がん患者に対するソナゾイド術中造影超音波のポイント	
有田淳一	23・7 (72)
・技術解説 (アロカ)	23・7 (74)

〈新シリーズ〉
めざせ達人シリーズ 〈MRI 編〉
MRIの“予想外？”な真実

1. このシリーズへのイントロダクション	
巨瀬勝美	23・3 (92)
2. NMR の原理：NMR 信号の起源	
巨瀬勝美	23・4 (84)
3. 核スピン系の運動——スピン位相ダイアグラム	
巨瀬勝美	23・5 (112)
4. 核磁化の定常状態とグラディエントエコー法	
巨瀬勝美	23・6 (60)
5. グラディエントエコー法における RF spoiling	
巨瀬勝美	23・7 (78)
6. CPMG の真実	巨瀬勝美 23・8 (86)
7. コヒーレント型グラディエントエコー法	
巨瀬勝美	23・9 (108)
8. MRI における空間分解能	巨瀬勝美 23・10 (76)
9. MRI における画像補間	巨瀬勝美 23・11 (84)
10. 強度画像の定量性と T ₂ 計測	巨瀬勝美 23・12 (68)

〈新シリーズ〉
めざせ達人シリーズ 〈CT 編〉
CT徹底解剖—基礎から日常点検まで

1. CT の達人になるために	辻岡勝美 23・6 (58)
-----------------	----------------

2. CT の基礎——アナログ CT 実験をやってみよう	
辻岡勝美	23・7 (75)
3. ヘリカルスキャンが変えたもの	辻岡勝美 23・8 (89)
4. CT 装置の構成	辻岡勝美 23・9 (110)
5. CT の空間分解能	辻岡勝美 23・10 (78)
6. CT のコントラスト分解能	辻岡勝美 23・11 (86)
7. CT の時間分解能	辻岡勝美 23・12 (70)

ImageJ で学ぶ 実践医用・バイオ画像処理

第 34 回 ImageJ の追加機能について	
山本修司	23・1 (91)
第 35 回 ImageJ マクロ言語のプログラミングテクニック	
山本修司	23・2 (103)
第 36 回 ImageJ を用いた統計画像処理とパターン認識 (ImageJ による主成分分析)	
山本修司	23・3 (100)
第 37 回 ImageJ を用いた統計画像処理とパターン認識 (判別分析とクラスタリング)	
山本修司	23・4 (92)
第 38 回 ImageJ を用いた統計画像処理とパターン認識 (fMRI への応用)	
山本修司	23・6 (77)
第 39 回 ImageJ とアプリケーションプログラム インターフェイスの連携	
山本修司	23・7 (82)
第 40 回 ImageJ とアプリケーションプログラム インターフェイスの連携 〈その 2〉	
山本修司	23・8 (101)
第 41 回 ImageJ のソースコード分解 (Eclipse を用いた ImageJ ソースコードのコンパイル)	
山本修司	23・9 (113)
第 42 回 ImageJ のソースコード分解 (Eclipse を用いた ImageJ のプラグイン実行方法)	
山本修司	23・10 (84)
第 43 回 ImageJ によるマンモグラフィの画質評価 ——CDMAM ファントム用プラグインの解説	
山本修司	23・11 (94)

Contribution (投稿論文)

・高速データ収集可能な半導体検出器を利用した デジタルパノラマ X 線撮影装置 (PanoACT-1000) の開発	
関 健次ほか	23・8 (98)
・意外に難しい CD・DVD からの画像インポート ——IHE の IRWF の可能性	
阿部 聡	23・11 (97)
・16DAS MSCT を用いた透析内シャント血管 4D-CTA への試み Try of shunt blood vessel 4D-CTA in the dialysis using 16DAS MSCT.	
前田年彦ほか	23・12 (84)

学会リポート

・ ECR2008・IMAGINE で日本初のデモ展示 ——知的クラスター創成事業における CAD プロジェクトの成果報告	
藤田広志	23・6 (74)

IV リポート

・東芝メディカシルシステムズが 世界初 320 列検出器搭載 CT 装置「Aquilion ONE」の 発表報告会を開催	23・1 (72)
・医療安全と IT をキーワードに 「第 27 回医療情報学連合大会」が神戸で開催	23・1 (96)
・MR Signa ユーザーズミーティング・全国大会 Signa 甲子園 2007 を開催	23・1 (97)
・東芝メディカルシステムズ 「The Best Image 2007」開催	23・2 (108)
・医療 IT 推進協議会が地域医療連携をテーマに シンポジウムを開催	23・3 (81)
・富士フイルムが国内メーカー初となる マンモグラフィ CAD を発表	23・3 (91)
・島津製作所「第 85 回レントゲン祭」を開催	23・3 (91)
・日本 IHE 協会「コネクタソン 2008」開催	23・3 (104)
・第 6 回 EBM 研究フォーラム開催	23・3 (104)
・特定健診・保健指導もテーマに盛り込んだ 第 15 回日本 CT 検診学会学術集会在開催	23・4 (58)
・東芝メディカルシステムズが Area Detector CT と Core64 のセミナーを開催	23・4 (96)
・インテルと日本医療政策機構, 患者の意見を反映した医療サービスの実現に向けて 患者会活動を支援	23・4 (97)
・MR マンモグラフィ研究会が MR マンモグラフィの実態調査結果を報告	23・4 (97)
・フィリップス 「第13回 Parallel Imaging Symposium」開催	23・5 (116)
・第 9 回化学放射線治療科学研究会と 日本医学物理学会・日本物理学会合同シンポジウムが併催	23・5 (117)
・ジョンソン・エンド・ジョンソンが 頸動脈用ステントシステムに関するプレスセミナーを開催	23・5 (118)
・フィリップス, 1.5T MRI 搭載米国製トレーラーの 国内初導入を発表	23・6 (57)
・日本分子イメージング学会が 第 3 回 総会・学術集会を開催	23・7 (56)
・平成 19 年度 放射線影響研究功績賞および 放射線影響研究奨励賞 発表	23・7 (63)
・JIRA, 平成 20 年度通常総会を開催 新会長に猪俣 博氏を選任	23・7 (85)

・日本超音波医学会第 81 回学術集会在開催	23・7 (86)
・第 12 回日本医療情報学会春季学術大会が開催	23・7 (87)
・第 16 回日本 MR Angiography 研究会と 第 6 回 3T MR 研究会が共同開催	23・7 (88)
・新体制となった JAHIS が 「平成 20 年度業務報告会」を開催	23・8 (50)
・第 2 回ソナゾイド研究会が開催	23・8 (72)
・日本医療情報ネットワーク協会が 「ユビキタス医療シンポジウム」を開催	23・8 (88)
・医療 IT 関連の国内最大規模の展示会 「国際モダンホスピタルショウ 2008」が開催	23・8 (104)
・国立大学附属病院長会議がインターネット会議システムの 運用開始を発表	23・8 (106)
・第 12 回全国 X 線 CT 技術サミット 第 27 回北海道ヘリカル CT 研究会 共同開催	23・9 (93)
・第 15 回 IHE ワークショップ	23・9 (116)
・AZE「INNOVATIVE AZE 2008」を 大阪と東京で開催	23・9 (118)
・アロカが製品・技術を紹介する 「ALOKA テクノロジーフェア 2008」を開催	23・9 (120)
・「みえる, わかる, なおる 放射線医療展」が開催	23・9 (121)
・第 27 回日本医用画像工学会大会 (JAMIT Annual Meeting 2008) 開催	23・9 (122)
・第 4 回 MR マンモグラフィ研究会が開催	23・9 (123)
・ACCJ 医療機器・IVD 小委員会 「先進医療技術の役割」啓発キャンペーンの 第 13 回メディアレクチャーを開催	23・9 (124)
・フィリップスが 256 スライスの マルチスライス CT「Brilliance iCT」を発表	23・9 (125)
・アキュレイ・インコーポレイテッド サイバーナイフ II の記者説明会を実施	23・9 (125)
・第 36 回日本磁気共鳴医学会大会	23・10 (55)
・医療 IT 推進協議会が医療の質をテーマにした シンポジウムを開催	23・10 (69)
・シーメンス, 東京慈恵会医科大学の “Hybrid OR”を紹介する記者説明会を開催	23・10 (86)
・フィリップス,「Philips Academy Seminar 心臓イメージングワークショップ」開催	23・10 (87)
・JSAWI2008・第 9 回シンポジウムが開催	23・10 (88)
・民間初の陽子線治療センターが開設	23・10 (88)
・第 16 回日本乳癌学会学術総会 開催 テーマは,「標準から個別化へ」	23・11 (60)
・フィリップスが 「Brilliance iCT Launch Symposium」開催	23・11 (83)
・GEYMS が See More, Know More, Less Dose を 実現する次世代 CT「CT750 HD」を発表	23・11 (101)
・JAMINA がペーパーレスをテーマにした セミナーを開催	23・11 (102)

- ・JDDW2008 Tokyo サテライトシンポジウム
「大腸がん検査を知り尽くしたエキスパートが語る
CT コロノグラフィ」開催 ……23・11 (103)
- ・島津,「メディカルセンター」をリニューアル ……23・11 (104)
- ・GEYMS, 認知症メディアセミナーを開催 ……23・11 (104)
- ・日本 IHE 協会,「コネクタソン 2008」開催
―初の試みとして会場内での IHE セミナーと見学会も実施―
…………… 23・12 (49)
- ・CT750 HD の臨床報告もあった
「GE Healthcare Advanced Seminar 2008」… 23・12 (61)
- ・GE 横河メディカルシステム
「LOGIQ」ブランドの最上位機種となる
次世代超音波診断装置「LOGIQ E9」を発表… 23・12 (89)
- ・第 36 回日本放射線技術学会秋季学術大会が開催
…………… 23・12 (90)
- ・テラリコン・インコーポレイテッド / エルクコーポレーション
IMAGING VISIONARIES 2008 in TOKYO を開催
…………… 23・12 (90)
- ・乳腺 MRI・Intervention 研究会が
キックオフミーティングを開催 …… 23・12 (91)
- ・FPD International 2008 開催
テーマは、ディスプレイからはじまるライフスタイル革命
…………… 23・12 (91)
- ・NTT データと NEC
レセプト請求のオンライン化に向けた
サービス事業で協業 …… 23・12 (92)
- ・ブレインラボ,「Novalis Tx 統合システム」の
国内初導入記念メディアセミナー
「放射線がん治療における専門クリニックの役割」開催
…………… 23・12 (92)
- ・インターシステムズジャパンが
医療向けの IT 活用セミナーを開催 …… 23・12 (93)

広告企画

- Image Analysis Software ― Next Advances
次世代の画像解析ソフトウェア
・肝臓解析ソフトによる術前 3D 画像と体積測定
―血管造影下 CT をもとにした画像の有用性
南 哲弥ほか …… 23・1 (94)
- ・産業動物における画像処理技術の利用
山田一孝 ……23・2 (106)
- ・MRI による動脈硬化プラーク診断
寺島正浩 …… 23・3 (98)
- ・ネットワーク型 3D ワークステーション
「AZE VirtualPlace Terminal Server」
大淵 新 …… 23・4 (86)
- ・小児における三次元画像の有用性と課題
河野達夫 ……23・5 (114)

- ・非造影 MRA を用いた
浅側頭動脈中大脳動脈吻合症例の術前評価の試み
―recipient artery の描出について
田中茂子ほか …… 23・6 (72)
- ・AZE VirtualPlace Lexus の当院における使用経験
内匠浩二ほか …… 23・7 (80)
- ・メタボリックシンドロームにおける
ワークステーションの活用
平野弘子 / 法花堂 学 …… 23・8 (96)
- ・原発性・転移性肝がんに対する肝切除前に必要な画像診断
―肝臓解析画像診断の有用性について
前谷洋爾 ……23・9 (106)
- ・遠隔画像診断における
AZE VirtualPlace 雷神 Terminal Server の有用性
中島好晃ほか …… 23・10 (82)
- ・生体部分肝移植後の肝機能評価における
CT と SPECT の融合画像の有用性
松島成典ほか …… 23・11 (92)
- ・肝臓解析ソフトによる術前門脈塞栓術前後の肝容積測定
―経静脈性造影 CT による解析
奥本忠之ほか …… 23・12 (82)

■ Web 連動企画 Healthcare Re-imagined.

- “Future of Radiolog”
・Future of Radiology From Perspective of BWH
幡生寛人ほか …… 23・1 (1)
- “How to Signa 軀幹部拡散強調画像”
・Signa による拡散強調画像の進め方
小林正人 …… 23・2 (1)
- “Cardiac MRI/CT”
・虚血性心疾患の診断における MRI の有用性 宮田節也
- ・マルチスライス CT の非石灰化冠動脈プラーク検出
および性状診断への活用 北川知郎
…………… 23・3 (1)

- “3T MRI による脳神経画像診断の新しい展開”
佐々木真理 …… 23・4 (1)
- “CT による心臓検査の有用性と可能性”
・心臓 CT の有用性と限界 古賀久士
- ・Coronary CTA の新たな展開 陣崎雅弘
…………… 23・5 (1)

- “MRI：体幹部領域における
Volume アプリケーションの臨床応用”
増井孝之 …… 23・6 (1)
- “スライスからキューブへ
―膵がん診療における 3D イメージの活用”
田中幸子 …… 23・7 (1)
- “ヘルスケア IT の効果的な活用に向けて”
・PACS/HIS 連携と
地域医療連携システムについて 藤川光一
- ・ペーパーレスとフィルムレスを実現する
統合画像管理の有用性 近藤博史
…………… 23・8 (1)

- “体幹部における Volume MR の有用性”
谷本伸弘 …… 23・9 (1)
- “婦人科腫瘍における PET/CT の有用性と問題点”
塚本江利子 …… 23・10 (1)
- “軀幹部領域のトピックス― 3T MRI を中心に”
赤羽正章 …… 23・11 (1)
- “乳がん診断の IT 化” 相良吉昭 …… 23・12 (1)
- Volume Data Solution Aquarius 製品導入事例リポート
リアルネットワークで広がる
ボリュームデータの院内配信の未来
・PACS 導入を見据えたシステムの拡張を図り
thin slice データの長期保存を可能とする環境を構築
院内の画像配信先も拡大し利便性も向上
●東海大学医学部付属大磯病院 …… 23・11 (75)

その他

■ NEWS & TOPICS

- RSNA 2007 ハイライト
―革新的な技術が開いた Technical Exhibits
…………… 23・1 (64)

■ TOPICS

- ・診断・治療システムの未来
【巻頭言】3D-VR 画像が変える外科治療
橋爪 誠 …… 23・1 (87)
- 1. オープンMRIを用いたナビゲーションシステムの開発と
肝がんの治療への応用
前田貴司ほか …… 23・1 (88)
- 2. 画像誘導手術の将来
― Future Aspects of Image Guided Surgery
小西晃造ほか …… 23・1 (89)

■一休さんが行く！

- インターネット報道から放射線安全を考える
粟井一夫 …… 23・3 (94)

■ PICK UP

- ・平成 20 年度診療報酬改定のポイント
―画像診断, 放射線領域を中心に―
秋元 聡 …… 23・4 (88)
- ・心臓 CT の新しい撮影法
― Step & Shoot Cardiac の臨床経験
城戸輝仁 / 望月輝一 …… 23・8 (92)
- ・320 列検出器搭載 CT
「Aquilion ONE」の初期使用経験
富田雄平ほか …… 23・11 (88)
- 地域中核病院における
高機能 CT・AZE VP ワークステーションの位置づけ
井戸靖司 ……23・11 (91)
- ・どこまで圧縮できる？ CT 画像！
― CT 画像における非可逆圧縮 (JPEG 2000) を用いた
画像圧縮の検討 〈前編〉
渡辺一廣 ……23・12 (73)

■ Special Report

- ・肺がん診断の現状と将来 ―トモシンセシスの可能性―
森山紀之 …… 23・4 (79)
- SONIALVISION Safire II の臨床応用経験と将来の可能性
池野直哉 …… 23・4 (82)
- ・FPD アプリケーションの将来性
今井 裕 …… 23・6 (37)

■ SPECIAL INTERVIEW

- ・フィルムレス PACS と遠隔画像診断の展望
― IT 化による医療連携がもたらすものとは
水沼仁孝 vs. 佐藤俊彦 …… 23・5 (86)
- ・Prokop 教授に聞く 256 スライス CT の有用性
― Brilliance iCT の使用経験 ―
Guest : Mathias Prokop M.D., Ph.D.
Interviewer : 望月輝一 M.D., Ph.D. …… 23・11 (78)

■ JRC2008 速報

- メインテーマは「よりよい放射線医療を求めて」
…………… 23・5 (111)

■ FDG-PET Survey

- FDG-PET & PET/CT は十分活用されているか？
―現状と課題
FDG-PET および PET/CT に関するアンケート調査結果の検討
巽 光朗ほか …… 23・6 (62)

■ IV-EXPRESS ― 海外論文サマリー

- …………… 23・1 (102)
- …………… 23・2 (112)
- …………… 23・3 (108)
- …………… 23・4 (102)
- …………… 23・5 (126)
- …………… 23・6 (82)
- …………… 23・7 (94)
- …………… 23・8 (112)
- …………… 23・9 (132)
- …………… 23・10 (94)
- …………… 23・11 (108)
- …………… 23・12 (98)

■市・場・発 (毎号掲載)

- …………… 23・1 (98)
- …………… 23・2 (110)
- …………… 23・3 (105)
- …………… 23・4 (98)
- …………… 23・5 (120)
- …………… 23・6 (80)
- …………… 23・7 (90)
- …………… 23・8 (107)
- …………… 23・9 (126)
- …………… 23・10 (90)
- …………… 23・11 (106)
- …………… 23・12 (94)

- JIRA からのお知らせ …… 23・2 (72)
- 付録 「INNERVISION」2009 年特製カレンダー… 23・12

〈シリーズ特集〉 ●23・1
シーン別画像診断のいま
——求められる画像と応える技術
【Scene Vol.1】救急医療
外傷の画像診断と治療技術の進歩

企画協力：横田順一郎（市立堺病院副院長）
中島康雄（聖マリアンナ医科大学放射線科教授）
坂下恵治（大阪府立泉州救命救急センター放射線科技師長）

I 外傷初期診療における治療戦略の変遷	横田順一郎	(2)
II 外傷診療における救急画像診断の変遷	中島康雄	(5)
III 胸部外傷		
1. 今日の画像診断手法と血管内治療	桼見文枝ほか	(7)
2. 今日の外科的治療と画像診断に求めるもの	久志本成樹	(12)
IV 腹部外傷		
1. 外傷の画像診断手法と血管内治療	服部貴行ほか	(20)
2. 今日の外科的治療と画像診断に求めるもの	渡部広明 / 松岡 哲	(26)
V 骨盤外傷		
1. 外傷の画像診断手法と血管内治療	吉原尚志ほか	(31)
2. 今日の外科的治療と画像診断に求めるもの	加藤 宏ほか	(36)
VI 救急診療における撮像技術のポイント		
1. 外傷診療における撮像のポイント	坂下恵治ほか	(42)
2. 外傷診療における CT 撮影のポイント	山本浩之	(45)
3. 外傷診療における MR 撮像のポイント	山本浩司	(49)
4. 外傷診療における血管造影および IVR の テクニカルポイント	米田 靖	(53)
VII 災害時医療と画像診断		
今日の災害時医療 ——災害派遣医療チーム(DMAT)の役割と画像診断の適応	大友康裕	(56)

〈特集〉 ●23・2
Cardiac Imaging 最前線
循環器画像診断の到達点

企画協力：望月輝一（愛媛大学医学部放射線科教授）

I PROLOGUE：心臓イメージングの過去・現在・未来 循環器画像診断の到達点とこれから —— CT を中心に	望月輝一	(2)
--	------	-----

II ROUTINE：ここまできた心臓イメージングの臨床		
1. MDCT の有用性—— 64 列 MDCT の一歩進んだ活用方法	藤井 隆	(4)
2. 64 マルチスライスの心臓 CT で何がわかるか？	中島好晃ほか	(12)
3. 心臓 MRI —— ルーチン撮像法を中心に	井上祐馬 / 望月輝一	(18)
4. 心エコーによる心不全の診断, 管理 ——心臓再同期療法における役割を中心に	笠巻祐二ほか	(24)
5. 核医学 (SPECT) の有用性—— 課題も含めて	渡辺浩毅	(29)

III TOPICS：心臓イメージングはどこまで進むか		
1. MDCT による被ばく低減と描出能向上の試み	佐藤浩三ほか	(33)
2. Dual Source CT の最新情報と今後の展望	魚谷健祐ほか	(36)
3. MDCT の最新技術と今後の可能性	元山貞子ほか	(39)
4. MRI の最新技術と今後の可能性	寺島正浩	(42)
5. 核医学 (SPECT/CT) の最新技術と今後の可能性	松本直也 / 鈴木康之	(46)
6. アンギオシステムの最新技術と今後の可能性	伊藤鹿島 / 角辻 暁	(49)
7. ワークステーションの進歩と今後の方向性	片平和博	(53)

IV Cardiac Imaging 最新技術動向		(59)
---------------------------	--	------

〈特集〉 RSNA 2007 ●23・3

■ RSNA Photo & Report Connecting Radiology	白石順二	(2)
■ エキスパートによる RSNA ベストリポート		
1. CT & MRI の最新技術と臨床応用の動向		
・脳・頭頸部	大久保敏之	(7)
・胸部（肺）	藤本公則	(8)
・胸部（びまん性肺疾患を中心に）—— CT	荒川浩明	(10)
・循環器 —— CT	永谷幸裕	(11)
・循環器 —— MRI	末吉英純	(12)
・腹部（肝・胆・膵）	小林 聡	(14)
・腹部（消化管）	曹 博信	(15)
・骨盤部（婦人臓器）	小澤栄人	(16)
・骨軟部・脊椎	渡辺淳也	(17)
・CT の最新技術動向（撮像技術を中心に）	辻岡勝美	(18)
・MRI の最新技術動向	原留弘樹	(20)
・脳神経領域	工藤興亮	(23)
・非造影 MRA の最新動向（撮像技術を中心に）	山本晃義	(24)

・CT コロノグラフィ (CAD も含めて)	吉田広行	(26)
2. US の最新技術と臨床応用の動向	中田典生	(27)
3. 核医学の最新動向	PET, PET/CT を中心に 吉田啓介	(29)
4. 乳腺領域（プレストイメージング）の最新動向	嶋内亜希子	(31)
5. デジタルイメージングシステムの最新動向	FPD を中心に 真田 茂 / 田中利恵	(32)
6. IVR の最新動向	器具の進歩も含めて 園田明永	(33)
7. 放射線治療の最新動向	井上哲也	(35)
8. 救急放射線の視点から見た最新動向	坂下恵治	(36)
9. 分子イメージングの最新動向	MRI を中心に 松島 秀 / 紀ノ定保臣	(38)
10. CAD（コンピュータ支援診断）システムの最新動向	藤田広志ほか	(40)
11. 画像処理技術の最新動向	山本修司	(44)
12. 読影のための画像処理・表示技術の最新動向	小寺吉衛	(46)
13. モニタの最新技術動向	市川勝弘	(47)
14. 医療情報システムの最新動向	IHE, EHR の動向 江本 豊	(48)
15. 各種電子展示発表の最新動向	中田典生	(50)
16. 初めての RSNA 体験リポート		
・初めての口演発表体験	山崎明日美	(51)
・初めての電子的教育展示発表体験	三輪建太	(53)
17. 学生のための RSNA 体験法	後藤崇博	(54)
■ RSNA 2007 Award Winners 日本人受賞一覧		(56)
■ RSNA 2007 Award 受賞報告		(58)
曹 博信ほか / 吉田昌子 / 清末一路 / 森田佳明 / 渡辺佳明 村松千左子ほか / 永谷幸裕 / 尾田済太郎 / 田中利恵 / 市川珠紀 高橋規之 / 浜 幸寛 / 武藤絢子 / 橘川 薫 / 渡谷岳行 岡田真広 / 國松 聡 / 高橋昭喜 / 竹内麻由美		

〈特集〉 ●23・4
マルチモダリティによる
Abdominal Imaging 2008 【技術編】
それぞれの技術の到達点

企画協力：角谷眞澄（信州大学医学部画像医学講座教授）

■総論		
マルチモダリティによる Abdominal Imaging の戦略と選択	角谷眞澄	(4)
■ Abdominal Imaging におけるモダリティ別技術の到達点		
●CT		
・腹部領域における Dual Energy イメージングの有用性 （シーメンス）		(8)
・腹部領域における MDCT の臨床有用性 （GEYMS）		(10)

・東芝における CT Colonography 技術について （東芝）		(12)
・CT Colonoscopy の開発（日立メディコ）		(14)
●MRI		
・腹部 MRI における <i>syngo</i> アプリケーションの臨床応用 （シーメンス）		(16)
・腹部 MRI における技術動向（GEYMS）		(18)
・Atlas SPEEDER による腹部検査の 新しい可能性について（東芝）		(20)
・1.5T MRI における体幹部撮像技術の進展 （日立メディコ）		(22)
・3.0T の腹部領域におけるクリニカルアプリケーション （フィリップス）		(24)
●US		
・超音波断層画像の高画質化のための最新技術 （アロカ）		(26)
・腹部領域における 4D Imaging の応用（東芝）		(28)
・超音波診断装置の高画質化技術, アプリケーション （日立メディコ）		(30)
・Acoustic Radiation Force Impulse (ARFI) Imaging ——音響放射圧を用いた歪みの映像化 （持田シーメンス）		(32)
●DR/DA (FPD, FD)		
・多軸血管撮影装置「Artis zeego」による 腹部インターベンション環境の革新 （シーメンス）		(34)
・17 インチ大視野モダリティと最新アプリケーション （島津製作所）		(36)
・腹部領域における血管撮影装置「Innova4100 [®] 」の 有用性（GEYMS）		(38)
・腹部領域における Infinix Celeve-i シリーズの到達点 （東芝）		(40)
・オフセットオープン式多目的イメージングシステム CUREVISTA の新技術と臨床的有用性 （日立メディコ）		(42)
●PET/CT, SPECT/CT		
・診断用 CT 搭載型ハイブリット装置時代の 撮影・画像処理技術（シーメンス）		(44)
・GE 最新 PET-CT 技術（GEYMS）		(46)
・Deep Inspiration Breath Hold PET による 画質・Fusion 位置精度の向上（東芝）		(48)
・Oncology のための PET/CT —— TOF （フィリップス）		(50)
●Workstation		
・腹部領域における画像解析ワークステーションの活用 （AZE）		(52)
・「ZIOSTATION」における腹部の血管解析技術と 術前シミュレーション画像作成 （アミン / ザイオソフト）		(54)
・次世代プラットフォームアーキテクチャ Aquarius iNtuition（テラリコン）		(56)

〈特集〉 ●23・5
マルチモダリティによる
Abdominal Imaging 2008【臨床編】
日常臨床における戦略と選択

企画協力：角谷眞澄（信州大学医学部画像医学講座教授）

I 肝

1. 肝細胞がんの画像診断
—— MRI を中心に
【岐阜大学医学部附属病院】 渡邊春夫ほか ……………（2）
2. 転移性肝がんの診断
【近畿大学医学部附属病院】 岡田真広ほか ……………（6）
3. 肝細胞がん・転移性肝がんの IVR
【岡山大学病院】 金澤 右 / 笹井信也 ……………（12）
4. FD, DynaCT, 3Dワークステーションを用いた
肝細胞がん・転移性肝細胞がん治療
—— 三次元画像を血管系インターベンションにどう生かすか
【千葉県がんセンター】 高野英行 ……………（16）
5. 肝領域の超音波診断
—— 造影前および 3D・4D を中心に
【昭和大学病院】 佐々木勝己ほか ……………（19）
6. 肝細胞がんの血管造影診断における先進的取り組み
—— 肝細胞がん IVR 治療の現状と展望
【大阪赤十字病院】 芦田信示 / 岡田光正 ……………（25）
7. PET/CT による肝腫瘍の診断
【国立がんセンター中央病院】 立石字貴秀 ……………（30）

II 胆・膵

1. 胆道がんの診断
【浜松医科大学医学部附属病院】
高橋 護 / 竹原康雄 ……………（34）
2. 膵がんの診断
【大分大学医学部附属病院】 高司 亮ほか ……………（38）
3. 膵内分泌腫瘍の診断
【佐賀大学医学部附属病院】 入江裕之ほか ……………（42）
4. 膵嚢胞性腫瘍の鑑別診断
【金沢大学医学部附属病院】 南 哲弥ほか ……………（46）
5. 急性膵炎の新しい画像診断
—— MDCT を用いたパーフェュージョン CT による
急性壊死性膵炎の診断
【国立病院機構 仙台医療センター】
武田和憲ほか ……………（51）

III 腎・副腎

1. 腎細胞がんの診断
【熊本大学医学部附属病院】
西村振一郎 / 山下康行 ……………（56）
2. 乏血性腎腫瘍の鑑別診断
【慶應義塾大学病院】 大杉 圭ほか ……………（60）
3. 副腎腫瘍の鑑別診断
【昭和大学病院】 後閑武彦ほか ……………（63）

IV その他（最新動向）

1. 腹部領域における dual energy CT の臨床的有用性
【奈良県立医科大学】 北野 悟ほか ……………（67）
2. フィルムレス時代の肝の画像診断
—— 効率化と精度向上を両立するカギ
【信州大学医学部附属病院】 上田和彦 ……………（71）
3. Time-SLIP 法併用非造影 MR portography
—— 肝外門脈経の描出と血流方向の評価
【医仁会 武田総合病院】 川上光一ほか ……………（74）
4. 肝臓灌流画像（CT perfusion study）の現状
【筑波大学附属病院】 植田琢也 ……………（79）
5. 院内ネットワークを利用した
3D 画像配信システムとその臨床的有用性
—— 胆・肝臓疾患を中心に
【埼玉県済生会 川口総合病院】 富田博信 ……………（82）

〈特集〉 JRC 2008 ●23・6

- 第 67 回日本医学放射線学会総会（JRS）
第 64 回日本放射線技術学会総会学術大会（JSRT）
第 95 回日本医学物理学会学術大会（JSMP）
2008 国際医用画像総合展（ITEM in JRC 2008）
- 合同特別講演 1 〈合同企画〉 ……………（6）
 - 合同特別講演 2 〈合同企画〉 ……………（6）
 - 合同シンポジウム 1 〈合同企画〉 …………… 熊谷孝三（7）
 - 合同シンポジウム 2 〈合同企画〉 ……………（8）
 - 合同シンポジウム 3 〈合同企画〉 ……………（9）
 - 合同シンポジウム 4 〈合同企画〉 …………… 市川勝弘（11）
 - 合同シンポジウム 5 〈合同企画〉 ……………（12）
 - 会長講演・松井 修〈JRS〉 ……………（12）
 - 特別講演 5〈JRS〉 ……………（13）
 - シンポジウム 1 〈JRS〉 ……………（14）
 - シンポジウム 2 〈JRS〉 ……………（16）
 - シンポジウム 4 〈JRS〉 ……………（17）
 - シンポジウム 5 〈JRS〉 ……………（18）
 - シンポジウム 6 〈JRS〉 ……………（19）
 - シンポジウム 7 〈JRS〉 ……………（20）
 - 大会長講演・真田 茂〈JSRT〉 ……………（22）
 - 特別講演 2〈JSRT〉 ……………（22）
 - シンポジウム 1 〈JSRT〉 …………… 小野口昌久（23）
 - シンポジウム 2 〈JSRT〉 …………… 真田 茂（24）
 - シンポジウム 3 〈JSRT〉 …………… 鈴木隆二（25）
 - CyberRad 2008
ワークフロー重視のシステム化の実現
—— よりよい情報システムを求めて —
〈JRS, JSRT, JIRA 合同企画〉 ……………（26）
 - 2008 国際医用画像総合展（ITEM in JRC 2008） …（27）
 - 一休さんが行く！
IT 時代のプレゼンテーション
—— ITEM2008 から学ぶもの
栗井一夫 ……………（32）

〈特別企画〉 ●23・7
可搬媒体による診療情報提供の現状と課題
—— 患者さんのデータをムダにしないために

企画協力：奥田保男（日本放射線技術学会医療情報分科会会長 / 岡崎市民病院情報管理室）

1. 患者に渡す画像 CD —— 現状，問題点，インセンティブ
木村通男 ……………（2）
2. ワークフローから見た現状と問題点
—— 画像情報の受け渡しについて
奥田保男 ……………（9）
3. 搬媒体と PDI？
—— IHE の立場から見た可搬媒体による診療情報提供
奥 真也 ……………（13）
4. 患者にとって安全で有用な診療情報の提供を
実現するために
豊田 建 ……………（17）
5. 標準化と診療情報提供
安藤 裕 ……………（21）

〈特集〉 ●23・7
IMAGE PROCESSING & ANALYSIS 2008
画像処理・解析技術の最新動向
—— 優れたソフトウェアを中心に

- トップインタビュー：WS ベンダーのトップに聞く
開発の理念と方向性
- ・ ユーザー第一に，人と医療に役立つ製品づくりをめざして
畦元将吾 ……………（26）
 - ・ 究極の診断支援：新プラットフォーム「iNtuition」の
普及に賭ける
齊藤元章 ……………（27）
- 臨床現場が求める画像処理・解析技術とその応用
1. Volumetry と Fusion の評価
石風呂 実 ……………（28）
 2. ネットワーク対応型 3D 画像処理サーバの動向
津坂昌利 ……………（30）
- 各種ソフトウェアの技術解説
- ・ ネットワーク型ワークステーション
「AZE VirtualPlace 風神＋ / 雷神＋」
CT 心臓解析アプリケーション
（株式会社 AZE） ……………（34）
 - ・ ネットワーク型ワークステーション
「AZE VirtualPlace 風神＋ / 雷神＋」
MRI 心臓解析アプリケーション
（株式会社 AZE） ……………（35）
 - ・ ネットワーク型ワークステーション
「AZE VirtualPlace 風神＋ / 雷神＋」
腹部領域アプリケーション
（株式会社 AZE） ……………（36）

- ・ ネットワーク型ワークステーション
「AZE VirtualPlace 風神＋ / 雷神＋」
体脂肪測定アプリケーション
（株式会社 AZE） ……………（37）
- ・ ネットワーク型ワークステーション
「AZE VirtualPlace 風神＋ / 雷神＋」
肺解析アプリケーション
（株式会社 AZE） ……………（38）
- ・ AquariusNetStation における CT-Colonography
（テラリコン・インコーポレイテッド） ……………（39）
- ・ AquariusNetStation における CT 心臓機能解析
（テラリコン・インコーポレイテッド） ……………（40）
- ・ ZIOSTATION 大腸解析ソフト
（ザイオソフト株式会社） ……………（42）
- ・ Advantage Workstation Volume Share XT における
新アプリケーション
（GE 横河メディカルシステム株式会社） ……………（44）
- Discussion
黎明期の CT Colonography に挑む
—— CTC タスクフォースの結成とこれまでの成果
飯沼 元 / 平野雄士 / 山崎通尋
富松英人 / 森本 毅 / 三宅基隆 ……………（46）

〈特集〉 ●23・8
Women’s Imaging 2008
Vol.3 Breast Imaging
—— 画像診断技術の進歩と臨床シーンの最前線

企画協力：遠藤登喜子（名古屋医療センター統括診療部放射線科部長）

I 総 論

- 乳がんの診療はいま：診断・治療の最新動向
宮城由美 / 岩瀬拓士 ……………（2）

II 乳がん検診の最前線

1. 乳がん検診は死亡率を減少させるか？
死亡率減少に向けた検診のあり方とは
森本忠興ほか ……………（5）
2. 乳がん検診の精度向上に向けて
—— 診断技術の進歩と臨床的有用性
- 1) デジタルマンモグラフィ（DMG）の臨床的有用性と課題
—— 当院における経験から
石原節子 ……………（10）
- 2) デジタルマンモグラフィ（DMG）の撮影技術
堀田勝平 ……………（13）
- 3) ソフトコピー診断（モニタ読影）の普及と課題
—— メリット，デメリットの検証
奥田逸子 / 中島康雄ほか ……………（17）
- 4) 超音波検査の有用性と課題
橋本秀行 ……………（20）
- 5) CAD の臨床的有用性と課題
—— 精度向上と効率化に貢献しうるか
縄野 繁 ……………（25）

6) マンモグラフィと PACS — フィルムレス化へのノウハウ 西出裕子 ……………	(30)
Ⅲ 乳がん精密検査の最前線	
1. 術前進展度診断, 良悪性鑑別診断, 術前化学療法の 効果判定などの現状と展望	
1) MR マンモグラフィの臨床的有用性と課題 戸崎光宏 ……………	(34)
2) 乳がんにおける FDG-PET (PET/CT) の 臨床的有用性と課題 北島一宏ほか……………	(38)
3) バイオプシーの技術と進歩 — interventional radiology technique 水谷三浩 ……………	(45)
◆ Breast Imaging 最新技術動向 ……………	(51)
〈特集〉 Step up MRI 2008 — 多様化するアプリ & 技術の進歩—	●23・9
企画協力：吉川宏起（駒澤大学医療健康科学部教授）	
I ここまできたアプリケーションの臨床応用	
● 脳神経領域	
1. 3T MRI におけるスピンエコー法による T1 強調像でのコントラスト— 1.5T との違い 笠原誓子ほか……………	(2)
2. 血液スピラベリング (ASL) による脳血流の定量評価 — 脳血流量の定量解析法を中心に 野口智幸ほか……………	(5)
3. 磁化率強調画像 (SWI) による小児脳の MRI 丹羽 徹ほか……………	(10)
4. 拡散テンソル画像 (DTI) の最近の知見 青木茂樹 ……………	(14)
● 四肢領域	
1. パラメトリックマッピングによる関節軟骨の定量評価 — T2 マッピングを中心に 西井 孝ほか……………	(17)
II ここまできた造影 MRI & MRA	
1. Gd-EOB-DTPA (EOB・プリモビスト) の臨床応用 齋藤和博ほか……………	(21)
2. TRICKS の原理と臨床応用 渡辺靖志ほか……………	(24)
3. TimCT における造影 MR アンギオグラフィ 元良健一ほか……………	(28)
4. NSF (腎性全身性線維症) の現状と対応 吉川宏起 ……………	(32)
Ⅲ ここまできた非造影 MRA	
1. Time-SLIP の最新臨床応用 — 最適 BBTI 設定方法 2D BBTI Prep scan の紹介 辻 良憲ほか……………	(34)

2. NATIVE 法の撮像技術と臨床応用 北村茂利ほか……………	(39)
3. Flow Prep 法, IFIR 法, IR-IFIS 法の技術と臨床応用 杉村正義ほか……………	(43)
4. 3T での非造影 MRA — 3T TRANCE の真価と魅力 石本 剛 ……………	(46)
5. BASG 法を用いた非造影 MRA — 臨床応用と課題 桜井智生 / 板垣博幸 ……………	(50)
IV 進化した続ける MRI	
1. 拡散強調画像 (DWI) の q- 空間解析 (q-space analysis) 石亀慶一ほか……………	(54)
2. 他核種 MRS : ¹³ C MRS — 新しいプロトンデカップリング技術と 筋グリコーゲン含有量評価への応用 高橋英幸 / 滝沢 修 ……………	(57)
V さらに広がる MRI の応用範囲	
1. アルツハイマー病対策プロジェクト〈J-ADNI〉における MRI の役割 山田 実 / 松田博史 ……………	(60)
2. 心臓 MRI の現状と課題 — 心臓 MRI を普及させるために 平野雅春ほか……………	(62)
3. 当院における非造影冠動脈撮像について — 小児の whole heart coronary MRA 北住一哉ほか……………	(66)
4. オートプシーイメージング (AI) の考え方と実際 山本 憲ほか……………	(70)
VI 最新 MRI 略語解説 MRA の撮像法の略称と解説 五十嵐太郎 / 吉川宏起 ……………	(73)
VII 技術開発最前線	
・ 東芝独自の最新臨床アプリケーション — 非造影 MRA と脂肪抑制法における 新たなアプローチ (東芝) 後藤克人 ……………	(76)
・ Volume MR 時代に向けた新しい技術 (GEYMS) 中上将司 / 打木薫和 ……………	(78)
・ 日立 1.5T MRI [ECHELON Vega] の 最新アプリケーション (日立メディコ) 八杉幸浩 ……………	(80)
・ Black Blood Imaging の新しい高速化コンセプト : MSDE 法 — 血管壁病変およびその他の病変への応用の可能性 (フィリップス) 小原 真ほか……………	(82)
・ Tim (Total imaging matrix) をもとに開発される 次世代の送受信コイルシステム (シーメンス) 丸山克也 ……………	(84)
・ 進化した続ける Tim — I-class & T-class における最新アプリケーション (シーメンス) 渡邊かよ ……………	(80)

〈特集〉 ソナゾイド 造影超音波検査の進歩 第2回ソナゾイド研究会報告集	●23・10
【巻頭言】 ソナゾイド研究会代表世話人・森安史典 ……………	(2)
【第1部】 ソナゾイド造影超音波検査の基礎	
1. 造影エコーの How to — 基本的手技のコツとポイント 西田 睦 ……………	(3)
2. 造影イメージングの基礎と実際 神山直久 ……………	(8)
【第2部】 ソナゾイド造影超音波検査の診断	
1. ソナゾイド造影超音波検査による 肝細胞がんの微細血流評価 小川真広ほか ……………	(11)
2. ソナゾイドを用いた各種肝腫瘍の造影超音波所見 水口安則 ……………	(17)
3. フィリップス社製 iU22を用いた肝腫瘍の造影超音波診断 森 秀明ほか……………	(22)
4. ソナゾイド造影エコーによる肝腫瘍の診断 — EUB-8500 を用いて 田中幸子ほか……………	(26)
【第3部】 ソナゾイド造影超音波検査の治療支援	
1. Defect Re-perfusion Imaging の有用性と RFA 治療支援 畑中絹世 / 工藤正俊 ……………	(31)
2. RFA と RVS とソナゾイド 岩崎隆雄 ……………	(36)
3. 肝切除術における術中造影超音波の有用性 光法雄介ほか……………	(41)
4. 肝腫瘍患者に対するソナゾイドを用いた 肝切除術中造影超音波の臨床的有用性の検討 有田淳一 / 國土典宏 ……………	(49)
〈特別企画〉 第12回 全国X線CT技術サミット報告 臨床で役立つ画像作成のために	●23・11
■第 27 回北海道ヘリカル CT 研究会	
●講演Ⅰ：CT 画像における空間フィルタの基本知識 — 臨床応用を目指して 西丸英治 ……………	(5)
●講演Ⅱ：高速連続回転 CT 開発の話 — 第 4 世代その他について技術側面から 森 一生 ……………	(10)
■第 12 回全国 X 線 CT 技術サミット	
●ワークショップ：良好な三次元画像作成のために	
【基礎編】〈座長集約：辻岡勝美 / 八町 淳〉……………	(14)
1. 3 次元画像の原理と活用における基礎技術 市川勝弘 ……………	(15)
2. 3 次元画像のアーチファクト低減 村上克彦 ……………	(19)
3. TDC から考える 3D-CTA の造影法 — CT 撮像時間を基準にした造影剤使用量の適正化 寺澤和晶 ……………	(25)

4. 3 次元画像作成—臨床へつながるテクニック 小倉圭史 ……………	(30)
【臨床編】〈座長集約：石風呂 実 / 小川正人〉……………	(35)
1. 頭頸部領域における 3D-CTA の画像作成法 — 臨床医が求める 3D 画像とは 坂本 崇 ……………	(36)
2. 冠動脈および末梢血管のインターベンション治療 支援画像について 山口隆義 ……………	(42)
3. 臨床医が求める 3 次元画像—腹部領域 (肝臓) 吉川秀司 ……………	(47)
● 教育講演〈座長集約：井田義宏〉……………	(55)
誰でもわかるブラークの基礎知識 — CT, MR, US によるブラークの性状診断	
〈特集〉 加速するフィルムレスへのパラダイムシフト —これだけは知っておきたい, フィルムレスPACSのポイント—	●23・12
企画協力：奥田保男（岡崎市民病院情報管理室）	
I プロローグ フィルムレス PACS の導入に当たって — 考え方とチェックポイント 奥田保男……………	(2)
II これだけは外せないポイント別チェック	
1. ハード要件—インフラ, サーバ, クライアントなど 鈴木真人 ……………	(5)
2. これだけは知っておきたい フィルムレス PACS におけるモニタ導入のポイント 松田恵雄 ……………	(9)
3. 情報の送信と保存 坂本 博……………	(13)
4. 検像—画像データの精度, 確認, 配信 新田 勝 ……………	(17)
5. 読影医の視点から見た PACS 江本 豊……………	(20)
6. 臨床医の視点から見た PACS 早川文雄……………	(23)
7. 地域連携—病診連携, 病病連携, 遠隔診断など 近藤克幸 ……………	(26)
8. システムと情報の管理と保守 —「安全管理に関するガイドライン」と実際の運用 野津 勤 ……………	(29)
9. フィルムレスのメリット, デメリット — 臨床上, 経営上の効果 西谷 弘……………	(32)
Ⅲ 中小病院, 診療所における導入例	
1. フィルムレス PACS の導入経験 【呉共済病院】藤井友広……………	(35)
2. 完全フィルムレスを実現するためのシステム構築のポイント 【東海市民病院】山田篤人……………	(38)
3. 開業医における医用画像のフィルムレス運用の経験 【石原クリニック】石原 均……………	(43)
IV エピローグ PACS のこれまで・これから 石垣武男……………	(46)

〈別冊付録〉 ●23・1
・CT Colonography
大腸画像診断は新たなステージへ

企画：CTC タスクフォースチーム

- 総 論
CT Colonography の臨床応用への経緯と現状
今井 裕 …………… (2)
- 提 言
国立がんセンターにおける CT Colonography
大腸がん診断への戦略と将来展望
飯沼 元ほか…………… (3)
- CT Colonography の実際—前処置から画像表示まで—
1. 前処置—現状の前処置
山崎通尋 / 平野雄士 …………… (4)
- 2. 撮影法
空気の注入と体位, 撮影条件
山崎通尋 / 平野雄士 …………… (6)
- 3. 目的別画像表示法
スクリーニングに必要な画像表示法
病変検索のためのアプローチ
富松英人ほか…………… (8)
- ・COLUMN：スクリーニングに適した新しい表示方法
「Virtual Gross Pathology (VGP)」像 … (11)
- 4. 目的別画像表示法
術前診断に必要な画像表示法
肉眼型診断, 深達度診断, 転移リンパ節の診断について
森本 毅 / 飯沼 元 …………… (12)
- ・COLUMN：CT の特性を生かした画像表示法／
CTC を支援するための今後の展望………… (15)
- 5. 目的別画像表示法
術前シミュレーション
造影テクニックと画像表示法
松本 充 …………… (16)
- これからのアプローチ
1. これからの前処置法
エレクトロニッククレンジング技術
永田浩一ほか…………… (20)
- 2. CTC における CAD の開発と臨床応用
七戸金吾 …………… (22)
- COLUMN：患者さんにやさしい炭酸ガス注入
鈴木雅裕 …………… (23)
- ピットフォールとその対策
山崎通尋 / 平野雄士 …………… (24)
- CT Colonography 症例写真 …………… (26)
- 画像提供：国立がんセンター中央病院, 山下病院
日本海員救済会小樽病院
画像構成：宮谷美行 東芝メディカルシステムズ株式会社

〈別冊付録〉 ●23・2
・ITvision No.15

- 特 集
フィルムレス時代の PACS 選び
院内の画像配信環境を構築するためのノウハウ………… (25)
- ・Interview
フィルムレスの効果を「見える化」し
医療機関経営に貢献する PACS の導入が求められている
紀ノ定保臣 …………… (26)
- ・Special Contribution
フィルムレス環境を構築するためのポイント
渡辺宏樹 …………… (28)
- ・User's Report
システム構築の実際と稼働後の評価
◆坂総合病院 小山茂樹 …………… (32)
- ◆栃木県保健衛生事業団 増田英夫・森久保 寛 … (34)
- ◆新潟労災病院 金沢 勉 …………… (36)
- ◆関西医科大学附属枚方病院 大村直人 …………… (38)
- ◆松下記念病院 牛嶋 陽 …………… (40)
- ◆近畿大学医学部奈良病院 岡嶋 馨 …………… (42)
- ◆国立病院機構 熊本医療センター 吉松俊治 …… (44)
- 巻頭インタビュー
パラダイムシフトが起きた医療の IT 化に
学会として明確なビジョンを示していく
山本隆一 …………… (24)
- IT 最前線リポート
・統合画像システムによる“患者中心主義”の診療を展開
院内で発生する検査データを一元管理する
フィルムレス環境を構築
—— 埼玉医科大学国際医療センター …………… (48)
- ・健診における読影効率を向上するための PACS の構築
フィルムレスと当日判定を実現し, 診断精度の向上にも成果
—— 埼玉医科大学病院健康管理センター …………… (52)

- 広告企画
ZOOM UP …………… (01)
- 〈連載〉診療所の IT 化が医療の未来を築く
西田在賢・静岡県立大学大学院経営情報学研究科教授に聞く
…………… (56)
- 〈新連載〉DPC 時代の病院 IT 化戦略
DPC において入院収益最大化をねらうには？
今西陽一郎 …………… (60)
- TOPICS
・富士通総研が「eICU」を紹介するセミナーを開催 … (47)
- ・第 27 回医療情報学連合大会が開催 …………… (47)

〈別冊付録〉 ●23・3
・iNtuitive Way

〈提供：TERARECON, INC〉

- SPECIAL SECTION ①
・Interview-1
齊藤元章 CEO に聞く
テラリコン社 次の 10 年に向けた新戦略
分社化により事業ごとに最適化された成長をめざす … (1)
- ・RSNA 2007 BOOTH REPORT
Aquarius iNtuition がもたらす
画像診断ワークフローの新時代 …………… (2)
- ・Interview-2
Robert Taylor 新社長に聞く
ボリュームデータへの挑戦
Aquarius iNtuition が生み出す新たな事業展開 …… (4)
- SPECIAL SECTION ②
・SPECIAL REPORT
米国導入事例：Wake Forest University Baptist
Medical Center 取材報告
AquariusNET が作り出す米国最先端の院内ネットワーク
…………… (5)
- SPECIAL SECTION ③
・国内導入事例
ボリュームデータを有効活用する
3D 画像処理とデータマネージメント
1. 川崎市立川崎病院 …………… (10)
- 2. 鹿児島大学病院 …………… (12)
- 3. 北里研究所メディカルセンター病院 …………… (14)
- 4. 京都大学医学部附属病院放射線診断科 …………… (17)
- 5. ゆきぐに大和病院 …………… (20)
- 6. 福岡市民病院 …………… (23)

〈別冊付録〉 ●23・4
・磁遊空間 Vol.16

〈提供：(株)日立メディコ〉

- PICK UP
三島中央病院が取り組む,
ECHELON Vega の循環器領域への応用
0.3T から 1.5T への更新で,
より高度な医療の提供をめざす…………… (2)
- ユーザー訪問
【APERTO／医療法人社団 山田脳神経外科医院】
APERTO Inspire を導入し,
市内唯一の有床脳神経外科医院として
高度な診療環境を構築…………… (6)
- 【AIRIS Elite／広沢クリニック】
AIRIS Elite による画像診断を活用したプライマリ・ケア
ASCENDING 6.0 での造影 MRA を開始…………… (8)

- CURRENT TECHNOLOGY
オープン MRI の最新アプリケーション
「ASCENDING 6.0」…………… (10)
- My Opinion
未来医療一人を幸せにするための
“外科医の新しい目”と“新しい手”
土肥健純 …………… (14)
- Report
第 7 回日本脳神経外科術中画像研究会 …………… (15)
- MRP ユーザー会が各地で開催
—— 中国, 九州, 関西, 東海・北陸, 関東, 北海道
…………… (16)

〈別冊付録〉 ●23・5
・新。超音波診断 Vol.2
Trend of Diagnostic Ultrasound

〈提供：東芝メディカルシステムズ(株)〉

- 心エコーの最新動向 Cardiac Ultrasound
・心筋内虚血メモリーを 2D speckle tracking image で観察する
(Detection of postischemic diastolic stunningby using 2D
speckle tracking image)
石井克尚 …………… (2)
- ・Artida™ の先進の壁運動解析技術
川岸哲也 …………… (6)
- 胎児エコーの最新動向 Fetal Ultrasound
・ママに見せる超音波, 求められる画像
千葉喜英 …………… (12)
- 小児エコーの最新動向 Pediatric Ultrasound
・小児の腹部エコー —— 消化管エコーの時代へ ——
内田正志 …………… (16)

〈別冊付録〉 ●23・6
・Virtual Human & Analysis No.8
ボリュームデータ解析の宇宙

〈提供：(株) AZE〉

- Front Line 巻頭座談会
日米の臨床現場に見るボリュームデータ処理・解析の
現状と展望
CT/MRI 心臓解析ソフトウェア, ネットワーク型ワークステーション
の新展開
望月輝一ほか…………… (2)
- Image Analysis Software —— Next Advances
次世代の画像解析ソフトウェア
・頭頸部がんへの超選択的動注化学療法時の
薬剤分配投与量設定における IVR-CT の活用
中里龍彦ほか…………… (6)
- ・前立腺がん描出に有用な MRI 拡散強調画像と
T2 強調画像のフュージョンイメージ
清水 洋ほか…………… (8)

・ワークステーション VirtualPlace ターミナルサービスの有用性 小島豊之	(10)
・ワークステーションと DICOM ビューワ、レポートシステムの連携 —— 効率的な PET/CT 診断のために 笹井信也	(12)
・骨盤領域における MRI を用いた三次元画像の有用性 中園貴彦ほか	(14)
・時代が求める実践型の診療放射線技師教育 —— AZE VirtualPlace Lexus Terminal Server で学ぶレンダリング基礎学習 奥山康男ほか	(16)
・AZE Terminal Serverを用いた次世代の冠動脈 CT 読影法 —— 簡便・正確・迅速に読影可能な快適読影術 片平和博	(18)
・肝臓解析ソフトによる術前 3D 画像と体積測定 —— 血管造影下 CT をもとにした画像の有用性 南 哲弥ほか	(20)
・産業動物における画像処理技術の利用 山田一孝	(22)
・MRI による動脈硬化プラーク診断 寺島正浩	(24)
・小児における三次元画像の有用性と課題 河野達夫	(26)
●技術解説 AZE VirtualPlace 新シリーズ 雷神+’08/ 風神+’08	(28)

〈別冊付録〉 ・ITvision No.16	●23・7
---------------------------	-------

●特集 1 “カイゼン”に生かす IT 化 問題解決につなげるシステム導入と運用	(17)
・Interview 最高の患者サービスとは質の高い医療を提供すること そのためのツールとして IT を活用し業務を改善する 中川正久・清水史郎	(18)
・Special Contribution 医療情報標準化の最新動向 篠田英範・山本隆一	(22)
・活用事例 ◆東京警察病院 茶谷暁雄	(26)
◆昭和伊南総合病院 堀内 朗	(28)
◆六甲アイランド病院 戸塚哲郎	(30)
◆翠清会梶川病院 若林伸一	(32)
◆松石病院 福原正憲	(34)
◆新日鐵八幡記念病院 立川隆入	(36)
◆済生会熊本病院 田上真之介	(38)

●特集 2 プロジェクトマネジメントという視点 IT 化を成功に導くためには、何が求められているか ・プロジェクトマネジメントとは何か 瀬尾 恵	(48)
・失敗プロジェクトの深層にあるもの 村田晃一郎	(51)
・神戸市立医療センター中央市民病院におけるプロジェクトマネジメント 宮原勲治	(54)
●巻頭インタビュー 地域医療情報連携システムの構築により 医師の偏在を解消し医療の質を向上させる 吉田 純	(16)
●IT 最前線リポート ・ユーザビリティに優れた統合読影環境による読影業務の改善 操作性を追求した画像診断ワークステーションと レポートシステムを採用 東北大学病院	(40)
・業務の効率化や標準化を図る内視鏡部門システムを構築 電子カルテや病理システムとの連携により、 業務フローを改善 大阪市立大学医学部附属病院	(44)
●ZOOM UP	(1)
●〈新連載〉レセプトオンライン化大作戦 レセコン更新編 小林内科クリニック	(58)
●〈連載〉DPC 時代の病院 IT 化戦略② 病院経営者も患者も知りたい DPC ベンチマーク情報 今西陽一郎	(62)

●TOPICS ・富士通が「第 10 回 富士通病院経営戦略フォーラム」を開催	(64)
・第 12 回日本医療情報学会春季学術大会が 秋田で開催	(64)
・JAHIS の新会長に桂田昌生氏が就任	(65)
・国際モダンホスピタルショウ 2008 が 7 月 16 日に開幕	(65)

〈別冊付録〉 ・磁遊空間 Vol.17	●23・9
------------------------	-------

〈提供：(株)日立メディコ〉

●TOPICS 【京都動物医療センター】 獣医療で有用性を発揮するオープン MRI 開業獣医師が共同出資し、動物の脳脊髄系疾患に AIRIS-II comfort を活用	(2)
●My Opinion ポジティブ志向で循環器病克服に取り組む —— 危機を好機に変えて 橋本信夫	(5)

●ユーザー訪問 【ECHELON Vega / さぎぬま脳神経クリニック】 迅速で質の高い診断を提供する脳神経クリニックをめざし ECHELON Vega を導入 地域医療に貢献する画像センター化を推進	(6)
【APERTO Inspire / 医療法人恒和会 松石病院】 APERTO Inspire とシースルー MRI 室による 開放感にあふれる検査環境を構築 オープン MRI で患者さんへのやさしさを追究	(8)
●TECHNICAL INFORMATION MRI のパフォーマンスを維持する Sentinel カスタマーサポート	(10)
●CURRENT TECHNOLOGY 「ECHELON Vega」の 最新アプリケーションテクノロジー	(12)
●Report ・第 8 回日本脳神経外科術中画像研究会	(15)
・MRP ユーザー会が福井、仙台で開催	(16)

〈別冊付録〉 ・MAGNETOM Trend setting and Innovation 進化を遂げる Tim ファミリー	●23・10
---	--------

〈提供：シーメンス旭メディテック (株)〉

●Clinical Report ① MAGNETOM Trio, A Tim System MAGNETOM Avanto 2 台の 3T MR と高性能 1.5T MR で 高度な検査環境を構築 京都大学医学部附属病院	(2)
② 1.5T MAGNETOM ESSENZA の国内第 1 号機を導入 進化した Tim システムを搭載した “究極のルーチン MR” に期待 岡山済生会総合病院	(6)
③ MAGNETOM Avanto 年間 50 件に達した MR ガイド下乳腺バイオプシーの 実績と評価 医療法人鉄蕉会 亀田メディカルセンター	(8)

●Technical Report (技術解説) MR 開発のポイントと方向性 ① 最高の画質と検査効率を実現 ～ Tim から生まれた次世代型 RF テクノロジー MAGNETOM ESSENZA における IsoCenter Matrix Coil	(12)
② syngo ASL ～ Tim に裏打ちされた 非造影パフュージョンイメージング	(14)
③ syngo MapIt ～ Tim に裏打ちされた 関節バイオマーカーイメージング	(16)

〈別冊付録〉 ・次世代の多軸血管撮影装置 Artis zeego 未来へのプラットフォーム	●22・11
--	--------

〈提供：シーメンス旭メディテック (株)〉

●Clinical Report 多軸血管撮影装置「Artis zeego」を設置した “Hybrid OR” における 術中ナビゲーションシステムを用いた近未来手術の実際 プレス説明会「Hybrid OR が治療を変える ～脳神経外科、耳鼻咽喉科の事例から」抜粋報告 東京慈恵会医科大学附属病院	(2)
●Primary Report ① 循環器における Artis zeego の初期使用経験 全身撮影が可能な Artis zeego を “総合血管センター” の構築に生かす 静岡県立総合病院	(6)
② Artis zeego への期待 8 軸関節の C アームが生み出す 血管撮影の新たな可能性に挑む 小牧市民病院	(8)
●Technical Report (技術解説) Artis zeego の開発背景と技術特長	(12)